

さわやか通信

令和3年10月1日発行

No.24

株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成12年12月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 筑紫地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」

あるがままに
楽しく
ゆったりと

さわやか憩いの家大野城中央

利用者 Wさん



【新たな場所で】



令和3年4月に、「さわやかテラス二日市」・「さわやか憩いの家二日市」は無事に引越しも終え生活が始まりました。快適な空間はもちろんですが、一番に感激したのは、場所が変わり多少の戸惑いはありましたが、顔なじみの関係が安心するという事です。みなさん声をかけあい、浮足立っているスタッフに、「ほら、この人にさじを持ってきてやって」と声をかけられたり、「あなたあたしの隣やったらーが」と笑い合いあったり、「お風呂に入ったら、殿様風呂やった」と喜び合って過〜しています。

コロナ禍で地域の行事が中止になっていきますがそれでも近所を散歩していると、お花を見せて下さり、「コロナが収まったら公民館に遊びに来てね。夏祭りやお花見、子ども食堂もやってるからね」と声をかけてもらえ、あたたかい地域のみなさんに見守られていることに感謝しています。

また、併設している、小規模多機能型居宅介護施設「さわやか憩いの家二日市」は、登録定員が29名になりました。これまで1日8名の受け入れから、15名になり、空間を広々と使えるようになりました。利用者の方は「ここやったらいいな」「みんなどうしよるかいな」としばらく戸惑いがありました。が、少しずつ庭に野菜を植えたり、ペランダで食事やお茶を楽しんだり過〜しているうちに、半年経ちようやく利用者のみなさん

もスタッフも地に足がついた感覚です。しかも、隣に行けば「さわやかテラス」に繋がっていて、「なんのご飯作りよーと?」「おばちゃん元気にしとる?」と見える交流が始まりました。

また登録定員が増えたことで、専門職の皆さんと話しをする機会も増え「さわやかさん」と声をかけてもらえることをありがたく感じています。

コロナ禍で感染症対策をしながらの暮らしではありますが、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

（さわやかテラスさわやか憩いの家二日市 統括責任者 田中 順子）



【社内研修 実践発表①】

毎年社内研修として実践発表の機会を設けています。今年もリモートで発表を行いました。日頃のケアを振り返りまとめることで、心の整理ができる上に他の事業所の事も知ることができるよう機会になっています。今回全体で38名、その中で2名のスタッフの発表を紹介します。

「みとりケア

〜これまでとこれから〜」



昨年末から半年間に、5名の方のみとりの別れがあった。これまで経験したみとりとは違い、何かモヤモヤとした物を感じ、その「モヤモヤ」を明らかにしたいと考えた。

私が入社2年目にみとりの経験をさせていただいたAさんは、末期癌の方だったが最期の時まで「人としてどうあるべきか・どう生きるべきか」をAさんの生き方を通じて学んだ。初めてみとりを経験し、そこでの学びがみとりの原点だと思っている。今回のみとりでは、若年の70代と、世代の若い方との突然の別れがあり、死の間際に家族との思いの相違があった。本人の望まれる最期であったのかは分からないままである。

時代の流れの中で、生活スタイルや家族との関係性や価値観、地域の方との繋がりが変化し何事も多様化する時代ではあるが、決して変えられないことがある。自然に流れのまま生命を全うすることが、ありのままである事と捉えていた。命が終わろう

としている時に病院へ搬送することは心身に大きな負担をかけてしまい、絶対に避けるべきことだと考えていた。だが、本人の意思や死生感に対する想いを知らないままだと気づかされた。

人生のしめくりに、刻々と変化する病状に向き合う家族には葛藤があり、そこを支えることが私たちの役割だと感じている。どれだけ努力しても医療には限界があり、だれもが立派に死んでいく権利をもっている。だけれども、どこでどのようにして最期を迎えるということについて当事者から語られることが殆どなく、聞く側がタブーとしていたのかもしれない。ひとり、ひとりにさまざまな家族の形、価値観、人生観がある。最期について話しやすい、話しておきたいという環境を作ること私たちの役割ではないだろうかと感じている。

今まであたり前と思っていた暮らしが突然大きく変化する。私達は、最も近くで生活を共にし、真剣に向き合い、寄り添うことができる存在だと思っ。その人らしい生き方、今を支え、その方の望む暮らしの延長にみとりがあつて欲しいと考えている。



さわやかテラス大野城中央
吉田 千春

【ワクチン接種】



6月〜7月にかけて、サテライト式でコロナワクチン接種を受けました。さわやかテラス二日市は、横溝先生が来てくださり、さわやかテラス大野城・さわやかテラス大野城中央・さわやかテラス春日は、大西先生にお願ひし、入居者・スタッフにワクチン接種をしていただきました。初めてのことで戸惑いはありましたが、皆さん「痛くなかった」「安心した」と声が聞かれました。横溝先生も「チクツとしますよ」「みなさん元気でよかったです」と気にかけてくださって、大西先生も体調を気遣いながら、「無事に終えてよかったですね」と声をかけられていました。こうして接種が進み、治療薬で治れば、マスクを外せる日がくるかもしれないと願っています。

(さわやかテラス春日 長野 太一)



【BCP】



「Business Continuity Planning」の頭文字をとった略語で、日本語では事業継続計画といえます。災害や感染症の流行等の非常事態に直面しても事業を停止させることなく、停止したとしても可能な限り早く再開出来るよう、想定される状況に対する方針や対応方法を事前に取り決めておく計画になります。

東日本大震災から10年が経ち、この10年間で様々な災害が全国各地で発生しています。昨年から新型コロナウイルスが猛威を振るい、今後もしつどで大規模災害や感染症が発生するかわからない状況です。ウエルフェアネットでは各事業所から委員を選任し、非常災害・感染症対策委員会を月に1回開催しています。早急にBCPを策定し、訓練・見直しをしながら住み慣れた地域で安心した生活を続けて頂けるような計画を策定していきます。

(さわやかテラス大野城中央 原田 寛史)



BCPの策定をしている所です

【感染症訓練】



6月24日にさわやかテラスの入居者の方のお部屋をお借りして、午前と午後の部に分かれ感染症の訓練を行いました。

コロナウイルスに感染疑いのある方を想定し、ゾーニング(感染拡大防止の為、汚染区域と清潔区域を区分けすること)する役、感染予防具(ガウン、ビニール手袋等)を着て入居者を居室へ案内する役・入居者・発見者役に分かれ訓練を行いました。残りのスタッフは近くで見学を行い訓練後、感染予防具の着脱の仕方の講習会を行いました。訓練を実際に行ってみて、事前に誰がどのように動くのか計画していたものの、慌てた為に手順を忘れ、スムーズにいかない場面もありました。どの役割を任されてもスムーズに動けるよう日頃からシミュレーションや定期的な訓練を行い、経験を積み、体で覚えていくことが大事だと思いました。

(さわやかテラス二日市 福田 智博)



ゾーニングとガウンテクニックの訓練をしました。

【実践発表②】



「セラピューティック・ケアを通して触れることで感じる安心感」
セラピューティック・ケアとは、「治療力のある介護」を意味する。両手のぬくもりで緊張した心と体をほぐし、安らぎを提供すること。「手当て」とは「触れること」。現在、どの事業所もセラピューティックの日があり、施術を行っている。

さわやかテラス大野城に異動してきたばかりの私は、入居者の方の状態の把握やどのような方なのか等、不安や焦りを感じていました。その中で、セラピューティック・ケアを行う機会があった。よく知らない体の大きな男に施術されるのはどうなのかという心配もあったが、施術をしていくと「あー、気持ちの良い。ごめんね、こんなにしてもらって」など感謝の言葉を頂き、笑顔や気持ちを落ち着かせ目を閉じておられる姿を見て、場所や入居者の方が変わっても、今までやってきたことを続けていけば良いんだと思うことができた。そんな中、セラピューティック・ケアのスキルアップ研修があり、お話の中で、「施術を順序通りやろうと構えなくても腰や足をさするだけでも良いんです」とお聞きし、実践することにした。

実践していく中で、ある入居者の方との関わりが印象に残っている。

その方は、日常ご自分の世界に入られることがあり、スタッフの声かけが届かないことがある。起床時や立ち上がり時など特に膝や腰に痛みを感じられ、スタッフの手を払われ、表情険しくなられることがある。そこで、起き上がり時には上体を起こしていただき、腰や背中をさする。立ち上がり前後には膝や腰、背中をさすり声かけすることをを行った。痛みはあるものの、体を預けて下さり膝をさすりながら声かけると目を開け笑ってくださることが増えてきたように感じる。セラピューティック・ケアを通して気づかされたことが多々あった。

触れることで相手に安心感を持っていただく。セラピューティック・ケアを通して私なりの寄り添うことに繋がっていると思う。これからも「手当て」を意識して、入居者の皆さんにより良い毎日を送っていただけるよう努めて実践していきたい。



さわやかテラス大野城
山本 隆太

※今後、残り56名のスタッフが実践発表を行います。よい学びの場になっていきます。



さわやか憩いの家に勤めはじめ7月で2年目となりました。私は、看護師として大病院で5年、総合病院で1年働いたあとに結婚・出産。子育てをしているうちに興味をもったお菓子作りに目覚めて、実に14年間製菓講師として料理学校で働いていたので、ちよつと変わった経歴の持ち主かもしれません。そんな私がまた医療の仕事がしたいとおもったのは東日本大震災の悲しくやりきれない映像と同窓会でした。看護科80人中、集まったのは50人でした。潜在看護師という言葉がある中でまたまだだったのでしたが、医療系から外れた仕事をしていたのは私一人だったのです。「昔からびっくりする」としてたよね。」と羨ましがる友人たちを心底尊敬したのは私の方で、取得した資格をこれからの人生でもう一度生かしたいと熱く思ったのです。長いプランクに躊躇はありません。介護現場の経験もあります。それでも「さわやか憩いの家二日市」で働いてみようと思っ

たのは最初の職場説明で『ここで働いたら認知症になるのも怖くないなって私なんか思っちゃってますよね。』というきらきらした笑顔でした。いざ働き始めると、家にいるかのようにくつろぐ皆さんを前に、スケジュールがあるよくな、ないような毎日。何をしたいのか全くわからず、Yさんに「人が観ているテレビの前を横切るとは何事か！馬鹿たれー」Kさんには「食べよるときに

ウロウロするのは行儀が悪い。ゆつくり食べなさい。」と怒られもしました。心は折れましたが、どちらも人として当たり前のことです。そう思うとこんな50歳の私を叱ってもらえるのが感謝できありません。

私は今、通い始めたころよりずっと言葉や笑顔ができるようになった皆さんや、送迎時のご家族の表情が柔和で優しくなったのを見て福祉や介護の限らない力を感じています。もっと勉強もして看護の目ももち、皆さんの時間・感情に優しく寄りそい、安心できる場所を作っていけるように精進したいと思っています。



さわやか憩いの家二日市
大浅千加

【東京2020】

オリンピック・パラリンピックを皆さんと応援し、たくさんの勇気と感動を頂きました。



編集後記

先日、料理上手なスタッフから、いなり寿司のレシピを教わり作ってみました。その方の現在90代になれるお母様より受け継がれたレシピだそう、子どもからお年寄りまで、みんなで食べられるいなり寿司だ。炊き上がったあげに酢飯をつめながら、食べさせたいなと一番に頭に浮かんだのは、私に似て食べるのが大好きな娘たちの顔だった。レシピを教えてくださいました。スタッフのお母様も家族の喜ぶ顔を想いながら作っていたのかなと考えていたら、昔も今も人間の根っこ部分は何も変わっていないなと、心が温かくなった。

「コロナ禍で出来ないことはたくさん増えたけど、大切なことに気づくこともきつと増えた。今年、開催されたオリンピック・パラリンピックも、選手や関係者のひとりひとりがあきらめずに精一杯続けてきた結果だと思ふ。

利用者さんとの関わりの中でつまずき、悩むこともたくさんあるけれど、その方を考え、あきらめずに関わり続けることで、ふとつながる瞬間がある。私はその時あきらめなくて良かったと強く思う。立ち止まっても大丈夫。一歩ずつ進んでいこう。

(広報担当) 田中順子・山本隆太・宮内幸

園田真澄・種子島こなつこ

ウェルフェアネット令和3年度の活動

- 社外研修・セミナー参加
 - 日本認知症ケア学会
 - 日本ホスピス・在宅ケア研究会
 - デンマーク研修・台湾研修
 - 日本セラピューティックケア協会
 - 全国小規模多機能居宅介護事業者連絡会
 - 九州地区での各種研修
 - 他事業所との合同研修
- 各団体との関わり
 - 福岡県高齢者グループホーム協議会
 - 筑紫地区やさしい福祉「結の会」
 - 福岡県介護福祉士会
 - 筑紫地区小規模多機能連絡協議会
 - 大牟田認知症ライフサポート研究会
- 地域との関わり
 - 各地域の自治会・育成会・老人会等
 - 地域の保育園・小学校
 - 民生委員・福祉委員
 - 各地区の地域包括支援センター
 - 筑紫野市介護を考える家族の会
 - 春日市介護をかかえる家族の会「ひだまりの会」
- 相談会や講座開催に積極的に協力
 - 認知症サポーター養成講座
 - 社外実習生の受け入れ
 - 公民館活動との連携
 - 災害広域相互協定の推進
 - 20周年記念プロジェクト

筑紫野市

グループホーム
さわやかテラス 二日市
〒818-0067 筑紫野市啓明院1丁目13番5号
TEL 092-918-0045 FAX 092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家 二日市
〒818-0067 筑紫野市啓明院1丁目13番5号
TEL 092-918-3830 FAX 092-918-0255

大野城市

グループホーム
さわやかテラス 大野城
〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5-29
TEL 092-513-7511 FAX 092-513-7512

グループホーム
さわやかテラス 大野城中央
〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0352 FAX 092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家 大野城中央
〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0322 FAX 092-501-0323

春日市

グループホーム
さわやかテラス 春日
〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3307 FAX 092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家 春日
〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3531 FAX 092-588-3308



検索してね!

検索 さわやかテラス

株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番405
TEL 092-582-0757 FAX 092-582-0847